



# 一中だより

12月号  
令和6年12月2日  
小平市立小平第一中学校

## ■また、読書について

校長 栗林 昭彦

繰り返し述べていることですが、小平一中では教育活動の核に読書を位置付けています。各担任の先生には朝読書の時間は極力確保するように言っていますし、学校図書館を会議室代わりに使うなどということは意地でもしない。とにかく3年間により多くの本に親しみ、将来にわたり読書を習慣にできる生徒を育てたい。そう考えています。

小平市ではいま、「第5次小平市こども読書推進計画」の素案をホームページや各図書館で閲覧し、パブリックコメントを実施しています。令和7年度から11年度までの5か年にわたる読書推進に関わる大変重要な計画です。ぜひ多くの方にご覧いただいて、ご意見を寄せていただきた

	令和元年	令和6年
読書が好き	60.8%	50.0%
最近1か月に本を読んだ	90.7%	79.4%
学校図書館はほとんど利用しない	57.5%	72.0%

と思っています。市はこの計画を策定するにあたり市内の小中高校生にアンケート調査を実施しています。もちろん一中の生徒も回答をしています。その結

果も同計画には資料として添えられていますが、いささかショックな内容でした。

上の表は34ある質問項目のほんの一部、しかも中学生の回答のみですが、ここに表れている傾向は小学生も高校生も同様でした。残念なことに小平市のこどもたちの間には確実に「本離れ」が進んでいるようです。しかも学校図書館の利用者もものすごい勢いで減少しています。実に嘆かわしい、しかし嘆いていていいわけではない問題が、小平市のこどもたちに起きているということを、まず認識しなければいけません。

繰り返し述べていますが、読書は学力にも心の健康にも、様々な調査によれば体の健康にもプラスになるものです。先人の記した多くの文字を読むことで、人は多くのものを得ることができるとは。こどもであればなおさらのことです。その貴重な機会が活かされなくなっているとしたら、私たちの社会はより貧弱で殺伐としたものになっていくでしょう。人間的で豊かな生活を送れるような社会を構成できるメンバーとなるための資質の多くは読書によって育まれます。その場が大幅に減少しているとしたら、小平市の未来は明るいものとは言い難いです。

様々な災厄が飛び出したパンドラの箱の最後に「希望」が残ったごとく、実はこの調査にも一つだけ希望を感じる結果がありました。「読書が好き」と答えたこどもがそのきっかけとしてあげていたものの第1位が「おもしろい本と出会った」であり、その割合は42.3%から72.5%と大幅に上昇していた、ということです。つまり、考えようによっては多くの中学生はまだ「おもしろい本」に出会っていないのであり、その出会いの場を提供できれば、読書が好きなこどもたちを増やしていけるのではないかと考えられるということです。

小平一中の学校図書館では、この調査結果を見るまでもなく生徒と本の出会いの場を設けようと様々な工夫をしています。残念ながら北校舎の端という場所にあるため、上級生になるに従って利用者が減るのが悩みではありますが、生徒におもしろい本を提供しようと、日々工夫を重ねています。毎月のLibraryNewsはご覧いただいているでしょうか。ぜひ保護者の皆様にも、本校の学校図書館に興味を持っていただきたいです。まずお子さんと本の話ができるような関係を作ってください、本が今より身近なものとなること、そうして生徒たちが「おもしろい本」と出会う機会を様々な角度から増やしていく努力をすることが、読書好きの、読書を習慣とする生徒を増やすことにつながるのであろうと思っています。

## ■避難所運営マニュアルについて

災害発生時には本校も市民の皆さんの避難所になります。阪神淡路や東日本大震災の際には秩序だった経営のできた避難所もあれば、混乱の発生した避難所もあったという話を聞きます。避難所の運営は避難してきた皆さんが自主的に行うものですが、何の頼りもなく行うのは不可能であろうとの考えから、小平市は各小中学校に避難所開設準備委員会を設置しています。本校でも数年前にこの会が立ち上がり、地域の代表の皆さんと市の防災課の方と共に準備を続けてきました。



このたびようやく「避難所運営マニュアル」ができ上がりました。小平一中を避難所として使う場合、どのような組織で、施設をどのように使用していくか等がまとめられています。実際に災害が発生する前にこのマニュアルができたことは、よかったことだと思います。市のホームページの、「暮らし・手続き・税・防災 > 防災 > 避難所運営マニュアル」の欄に、本校のマニュアルも掲載されています。ぜひ一度ご覧になっていただければと思います。災害はいつ発生するかわかりません。心の準備は常にしておきたいものですね。

## ■12月の主な予定

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	4
1	日						
2	月	全校朝会 面談(3) 保護者会(1、I組)		○	○	○	○
3	火	コミュニケーションプログラム(1) 保護者会(2) 面談(3)		○	○	○	○
4	水	※ 面談(3)		○	○	○	○
5	木	コミュニケーションプログラム(1) 面談(3)		○	○	○	○
6	金	職場体験発表会(2) 面談(3)		○	○	○	○
7	土						
8	日						
9	月			○	○	○	○
10	火			○	○	○	○
11	水	※		○	○	○	○
12	木			○	○	○	○
13	金	笑顔と学びの体験		○	○	○	○
14	土						
15	日	ｽｷｰ-ｷｯｸ ﾚｽﾄ予備日(3)					
16	月			○	○	○	○
17	火			○	○	○	○
18	水	職員会議		○	○	○	○
19	木	特別支援学校交流(1) 多摩特研マラソン(I組)	マラソン大会	○	○	○	×

※印は放課後学習教室の開催予定日です。

20	金	ハツコ病資料館授業(3)		○	○	○	○
21	土						
22	日						
23	月			○	○	○	○
24	火	給食終 ｸﾘｰﾝｷｯﾊﾟｰｼﾞ		○	○	○	○
25	水	終業式		×	×	×	×
26	木	冬季休業日始					
27	金						
28	土						
29	日						
30	月						
31	火						

1月の予定

8(水)始業式 9(木)給食始 専門・中央委員会  
 10(金)生徒朝会 11(土)土曜公開 席書会(1)  
 15(水)避難訓練 職員会議 17(金)校外学習(2)  
 22(水)特支合同作品展始 職員会議  
 26(日)スキー教室(1)始 特支合同作品展終  
 都立高推薦入試 27(月)都立高推薦入試  
 28(火)スキー教室(1)終 29(水)振替休業日(1)  
 31(水)職員会議